

2014.10.8 地方創生本部:基本政策検討チーム(地域生活基盤施策)

「時代にあった地域をつくり、安全なくらしを守る」 ~東松島市の取組みから~



奥松島遠景(日本三景松島)

あの日を忘れず ともに未来へ 東松島一心

東松島市長

阿部 秀保



Higashimatsushima City

東松島市概要

■人口:40,090人(H26.4.1現在)

(震災前人口:43,142人)







【位置と気候】

東松島市は宮城県の県都仙台市の北東にあり 東は石巻市、南は松島町に面しています。 気候は、年間平均気温や降水量からみても、 東北としては比較的暖かく風雨の少ない地域 となっています。

【市花:桜】 【市木:松】



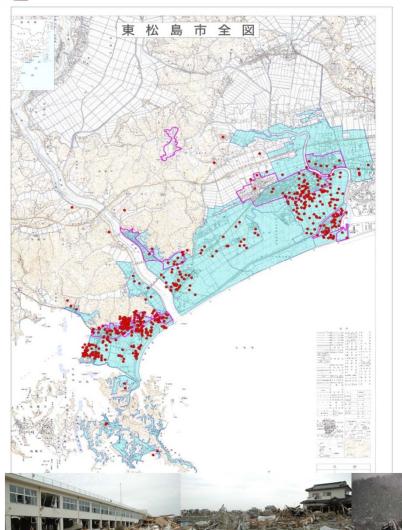


【体験と交流】

東松島市は、海、山、川の自然がそろい、 それぞれがすばらしい景観を形成しています。 特に、海水浴や潮干狩り、遊覧船、釣りなど のマリンレジャーが楽しめる場が豊富で、 年間約120万人の観光客が訪れていました。 また、航空自衛隊松島基地では、毎年夏に 航空祭が開催されていたほか、ブルーインパ ルスの展示飛行などを目当てに、全国から航







浸水地域は市街地の65% (全国の被災市町村中最大)

東松島市の被害状況

(平成26年8月末現在)

■人的被害(市民)

死者 1,109人行方不明者 25人

計 1,134人(全住民の約3%)

■家屋被害

全壊世帯 5,499棟

大規模半壊 3,054棟

半壊世帯 2,501棟

計 11,054棟

(全世帯の約73%)

■流出·水没車両 約11,000台

■避難者(最大) 1万5,185人

■避難所(最大) 86箇所

■浸水農地面積1,465ha/全体農地面積3,070ha



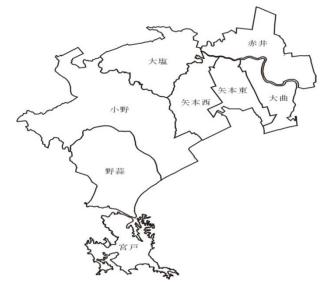


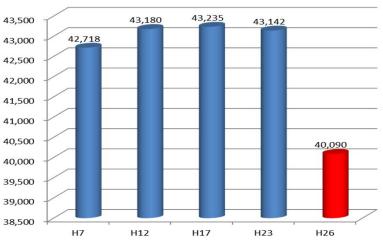


震災前と震災後の人口と世帯の推移(地区別)

	震災前 23.2		現在 26.4		増減	
地区名	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
矢本東	6,946	2,738	6,587	2,676	▲ 359	▲ 62
矢本西	7,922	2,860	7,873	3,007	▲ 49	147
大 曲	7,070	2,416	5,973	2,261	▲ 1,097	▲ 155
赤井	7,394	2,661	7,634	2,873	240	212
大 塩	2,833	907	3,860	1,350	1,027	443
小 野	5,396	1,693	5,780	1,976	384	283
野蒜	4,615	1,545	1,756	608	▲ 2,859	▲ 937
宮戸	966	260	627	211	▲ 339	4 9
合計	43,142	15,080	40,090	14,962	▲ 3,052	▲ 118

震災によって 約3,000人の人口減少







数値で比較する震災前と震災後の東松島市

項目	震災前(H22)	2013 (H25)	備考
人口(再掲)	43,142人	40,090人	△3,052人
高齢化率	22.4%	25.2%	+2.8%
製造品出荷額等	169億円	130億円	△39億円
卸売業年間販売額	133億円	77億円	△56億円
小売業年間販売額	325億円	285億円	△40億円
納税者1人当たり所得	275.9万円	252.9万円	△23.0万円

※「都市データパック」(東洋経済)より



数値で比較する震災前と震災後の東松島市その2

■行政経営の基盤となる地方税収入の低下

H22:H23対比△45%、H22:H24対比△22%

■復興に必要となる膨大な予算

震災前一般会計決算額 H22:153億円

震災後一般会計決算額 H23:540億円、H24:1,313億円、H25:1,088億円

■マンパワーの不足

√一般事務職員 243名(プロパーのみ)+ <u>129名(※1、※2の計)</u> (H26.10.1現在)

- ※1他自治体派遣職員 57名(現職)+21名(任期付採用)+7名(復興庁採用) 計85名
- ※2市独自のマンパワー確保 33名(任期付採用)+11名(再任用) 計44名
- ✔プロパーの採用、退職者数(3.11以降58名退職に対して、新規採用者47名)
- ■有効求人倍率の推移と雇用ミスマッチ(石巻ハローワーク/東松島市、石巻市、女川町)

H23.5:0.29倍、H24.5:1.04倍、H25.5:1.51倍、H26.5:1.39 (震災後最高は、H25.12の「1.94倍」)

■震災前120万人を超えていた観光客(交流人口)数が20万人まで低下



東松島市協働のまちづくり

地域活性化 = 新しい自治

(地方分権の具現化)

(地域内分権)

東松島市協働のまちづくりのきっかけ

地域分権社会の進展

少子化の進展・子育で困難 超高齢化社会 財政難 災害・地域犯罪の不安

合併による変化 (H17.4 旧矢本町と旧鳴瀬町 による合併)

10年後も安心して暮らせる地域でいられるか?

地域の"安全・安心"な暮らしを守るためにどうすべきか

まちづくりが進むべき新たな方向性

「市民と行政」、「市民と市民」

「行政と地域」、「地域と地域」

「協働のまちづくり」

✔市内8つの公民館を廃止(H20)、まちづくり基本条例の制定(H20)
✔8つの市民センターと地区センターの創設と地域自治組織による運営(H21)



東松島市協働のまちづくり2

協働まちづくりの仕掛けは、誰でも取り組める身近なところ、地域の"環境美化"から



植栽作業風景



海岸清掃風景

"8つの地域毎"に「まちづくり計画」を策定

(全8エリアで、市職員も参加し、延べ424回/年(H20実績)の話し合いを実施)

自主防災組織の設立(防災対策)、自主防災連絡協議会の創立に至り、 警察等(公助)による安全確保から、自助による子どもたちの通学時の安全確保について話し合いがなされた。

「まちづくり」とは、全ては基本の積み重ね

※「自主防災組織などの地域の防災体制の整備」については、東松島市まちづくりアンケートにおいて、満足度ランキング2年連続1位となっている。





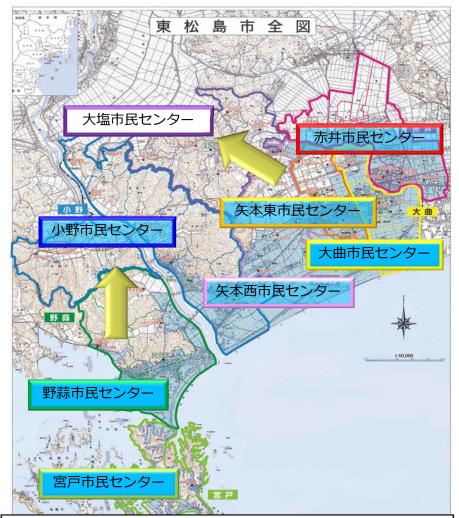
震災直後に最大限に活きた "協働のまちづくり"



織)による避難所運営自治組織(自主防災組



による自治組織同士の共助震災を契機とした、内陸部と沿岸部



「東松島市まちづくり基本条例」

(前文)地域の特性を活かし、魅力あふれる東松島市を市民の手で築き上げていくため、**協働によるまちづくりを推進することを基本**とし、この条例を定めます。





3.11における「共助」と「協働」







自助









復興計画の策定







漁業者





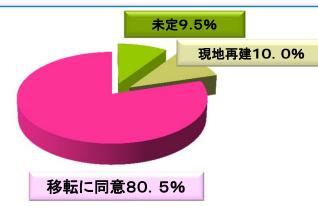
避難所



中学生

課題解決の手段=協働

「東松島市復興まちづくり計画」 を策定(2011.12策定)



集団移転

エネルギー

コミュニティ

少子高齢化

2011.5~2011.12の期間において、 80回以上のワークショップ(単なる説明会 ではない)を開催し、復興後の"あるべき 姿"について、市民等と合意形成を図った。





復旧≠復興



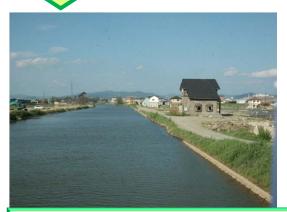
復旧(ふっきゅう)

いったん衰えたものを、もとの状態にすること。また、もとの状態にもどること。

復興(ふつこう)

いったん衰えたものを、盛んにすること。

- ①災害復旧費 ②復興交付金
- ③市単独復旧費



もとにもどす「復旧事業」

- ④環境未来都市予算(内閣府)
- ⑤国、県等の補助事業
- ⑥産学公民金連携
- ⑦市民協働

環境・少子高齢化・防災に対応した 「新しい東松島市」 の実現

復旧に留まらないあたらしい 復興のまちづくり





ご案内

第4回 環境未来都市構想推進 国際フォーラムが、

「東松島市」

で開催されます。

日時:12/5(金)~12/7(日)

場所: 東松島市コミュニティセンター他

あの日を忘れず ともに未来へ 東松島一新 3DAYS

2014年12月5日(金)-7日(日)

宮城県東松島市では、東日本大震災からの単なる復旧にとどまらない、新たな価値を生み出す復興まちづくりを進め、持続可能で安心安全な環境未来都市づくりをよりいっそう推進するため、下記のように「東松島一新 3DAYS」を開催いたします。

12/5 Fri.

The 1st Day

東松島 被災地視察ツアー 【事前予約制】

10:00~13:00 (予定)

大型バスにより、東松島市復興政策課の職員が、市内の被災地域や 復興まちづくりの現状などを御案内いたします。

視察先 候補地 集団移転高台造成地 旧・野蒜駅 奥松島「絆」ソーラーパーク 沿岸津波監視カメラ ディスカバリーセンター (日本初のSOS環境地球儀)

東北復興シンポジウム ~復興まちづくりと環境未来都市~(仮)

13:30~16:30 (予定) 会場: 東松島市コミュニティセンター 東北の被災地において環境未来都市の取り組みを進める各都市が、プレゼンテーションをおこない、現状と未来についての意見を交わします

12/6 Sat.

The 2nd Day

第4回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム

10:00~16:00 (予定) 会場: 東松島市コミュニティセンター

『レジリエンス向上と環境未来都市』(仮)

主催:内閣官房・内閣府、「環境未来都市」構想推進協議会

12/7 Sun.

The 3rd Day

東松島市民フォーラム ~みんなでつくる環境未来都市~(仮)

10:00~17:30 (予定) 会場: 東松島市 小野市民センター

"今"から未来を担う子供たちの世代まで、永く続くまちづくりを進めるため、親子で未来を対話するきっかけとなるよう市民フォーラムを開催します。

環境未来都市 東松島 Higashilvlatsushima the "FutureCity"

CONTACT 東松島市: fukko@city.higashimatsushima.miyagi.jp

内閣官房: q. futurecity@cas. go. jp



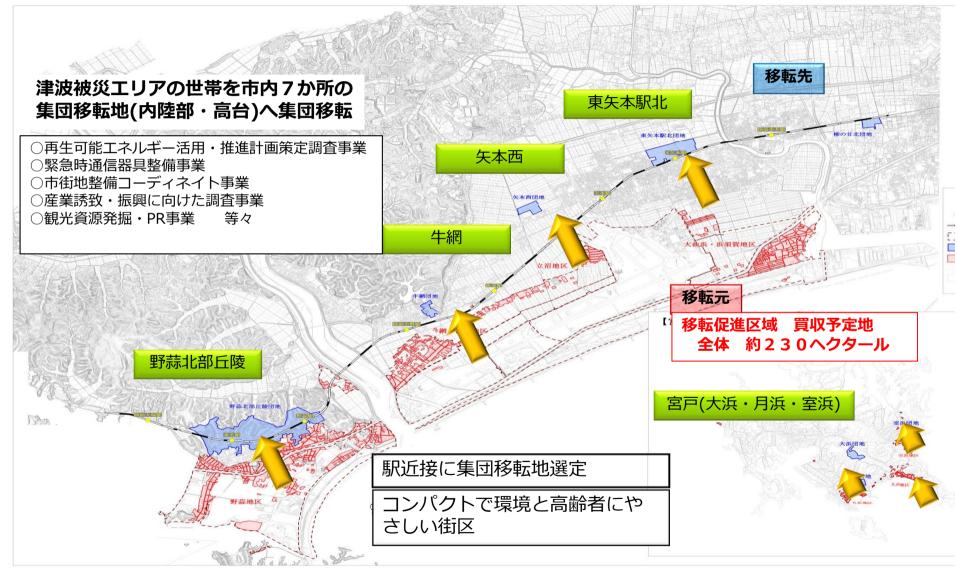
2014.10.8 地方創生本部:基本政策検討チーム(地域生活基盤施策)

「時代にあった地域をつくり、安全なくらしを守る」

東松島市資料編



東松島市 防災集団移転 計画



Higashimatsushima City



集団移転「まちづくり協議」の状況

各団地で住みよいまちづくりを実現するための話し合いが行われています

移転先名	東矢本駅北団地	矢本西団地	牛網団地	野蒜北部丘陵団地	室浜・大浜・月浜団 地
協議会名	東矢本駅北地区まち づくり整備協議会	矢本西地区まちづく り整備協議会	牛網地区まちづくり 整備協議会	野蒜地区 復興協議会	宮戸地区復興まちづ くり委員会
設立日	平成24年11月21日	平成24年12月19日	平成24年12月20日	平成24年11月25日	平成24年2月20日
代表者	会長 小 野 竹 一	会長 大 野 哲 朗	会長後藤政夫	会長成澤孝一	委員長 佐藤康男
整備計画戸数	集団移転286戸 災害公営273戸	集団移転92戸 災害公営40戸	集団移転41戸 災害公営27戸	集団移転296戸 災害公営263戸	集団移転51戸 災害公営24戸
事業推進体制	専門部会 1宅地・公共施設計 画検討部会 2区画決定ルール検 討部会 3街並み検討部会 4広報部会 5研修・イベント部 会 6その他役員会で必 要と判断する部会	役員会	役員会	専門部会 1復興部会 2医療福祉部会 3産業振興部会 4教育施設部会 5高台移転部会	宮戸地区復興まちづくり委員会、各浜地区会

- ※移転先のまちづくりを検討する組織内容については、一律とせず、<u>地域住民が希望する推進体制</u>とした。
- ※設立以降、全体で延べ300回以上にわたる合意形成を実施している。



災害公営住宅 整備状況

災害公営住宅	完成(予定)	タイプ	戸数計	備考
小松南	2014年4月	集合	156	入居済
小野中央	2014年4月	集合	21	入居済
川前二	2014年4月	集合	16	入居済
川前四番	2014年4月	集合	38	入居済
小野駅前北	2014年4月	戸建	23	入居済
既完成分			254	完成A
矢本東保育所	2014年10月	集合	20	
赤井柳の目北	2015年8月	集合・戸建	85	
小松沢田前	2016年4月	戸建	44	
小野駅前南	2016年3月	戸建	39	
集団移転地区分	*前頁参照	集合・戸建	568	
合計			1010	

[※]きめ細やかな合意形成により、既完成分254戸の入居率は、99%(H26.9現在)となっている。



防災集団移転促進事業の現状

移転先地区名	戸建住宅区画	災害公営住宅	戸数計	完成時期
矢本西地	87	40	127	2014.6完成
牛網	45	29	74	2014.6完成
月浜	18	4	22	2014.6完成
大浜	10	5	15	2014.6完成
室浜	6	13	19	2014.6完成
完成分	166		166	完成B
東矢本駅北 (あおい地区)	273	307	580	2014~2015(段階的に引渡し)
野蒜北部丘陵	278	170	448	2016~2017(段階的に引渡し)
合計	717	568	1285	

全体計画1727世帯(1010+717)に対し、約25%にあたる423世帯(完成A+完成B)に引渡済。 →震災から3年半経過したが、全体計画の約75%の市民が、仮設の住まいを与儀なくされている。

[※]全体計画に、個別移転1046世帯、現地再建287世帯は含まれておりません。

Higashimatsushima City



環境未来都市構想とは

「環境未来都市」構想は、限られた数の特定の都市を環境未来都市として選定し、21世紀の人類共通の課題である環境や超高齢化対応などに関して、技術・社会経済システム・サービス・ビジネスモデル・まちづくりにおいて、世界に類のない成功事例を創出するとともに、それを国内外に普及展開することで、需要拡大、雇用創出等を実現し、究極的には、我が国全体の持続可能な経済社会の発展の実現を目指すものです。









復興まちづくり計画と環境未来都市構想

東松島市復興計画 リーディングプロジェクト

安全で魅力ある暮らし

- ①命を守る安全な生活環境
- ②住みやすい住宅とコンパク トなまちづくり

コミュニティの再興

- ①震災からの地域力復興
- ②市民参画による地域課題の 解決(少子高齢化・福祉等)

地域産業の持続と再生

- ①産業復興のビジョン明確化
- ②企業誘致
- ③中間支援組織づくり
- ④6次産業化、観光振興

分散型再生可能(地域) エネルギーの推進

- ①再生可能エネルギーの促進
- ②移転跡地の活用

東松島市 環境未来都市構想

防災・災害対策

- ①安全な地域への住宅移転
- ②耐震化
- ③自主防災組織
- 4避難施設

雇用・産業の再生

被災跡地の利活用



少子高齢化対策

- ①地域コミュニティの再興
- ②雇用の対策の推進
- ③産業の振興
- ④医療・福祉の推進

環境対策

- ①再生可能エネルギーの促進
- ②環境産業の誘致
- ③CO2の削減
- ④地域資源の活用



© (

環境未来都市構想の実現震災からの復興



東松島市環境未来都市構想(防災・災害対策)

- ▼暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火等の自然災害から住民の安全を確保し、 "何世代にも亘り永く住み続けられるまち"を創造する。
- ▼地域独立電源を整備し、災害発生時の自立サポート機能を構築して、公共避難所における自立 避難生活機能を向上する。
- ▼住民個々の防災意識の定着と継承を促すため、より強固な地域コミュニティの再興を推進し、

"防災ソーシャル・キャピタル"を形成 する。

- - 構想モデルの例

- ■目標値:避難所におけるエネルギー自給率
 - H23 0% → H28 100%
- ■防災都市研修視察・見学者数
 - H23 なし → H28 2,500人



東松島市環境未来都市構想 (少子高齢化対策)

- ▼高齢者医療・介護・福祉費の抑制のために、安全で健康的な住宅を整備する。
- ▼介護・福祉が必要な高齢者への対応を図るため、地域住民相互の高齢者介護、見守り体制を構築する。
- ▼高齢者雇用の拡充を目指し、高齢者就業機会を 提供するとともに、外出を助ける交通基盤を 整備する。

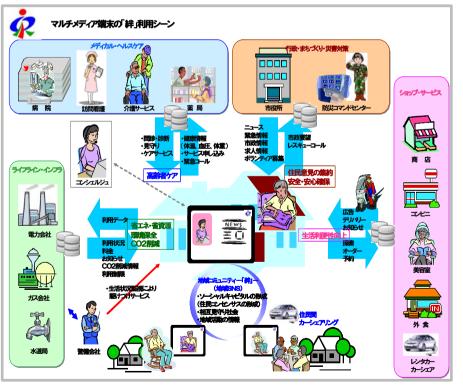
■目標値:65歳以上就業率

H23 29.29% \rightarrow H28 33.44%



コレクティブハウス

集合住宅の形態のひとつ。アパート的な独立した居住スペースの他に、居間や台所などを共同で使用できるスペースを備えたもの。住民同士の交流や、子育て・高齢者などの生活支援に有効とされる。デンマークなど北欧諸国に多い。



構想モデルの例



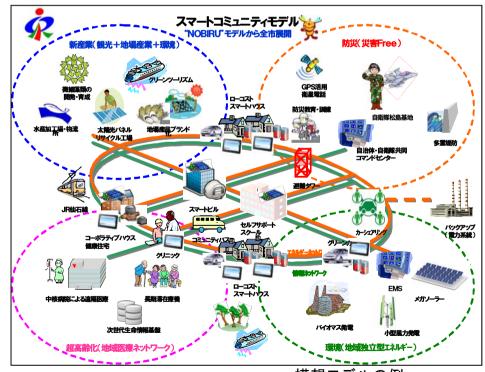
東松島市環境未来都市構想 (環境対策)

- ▼地域独立電源の創出をめざし、「MATSUSHIMA自然エネルギーパーク構想」を実現する。
- ▼家庭、運輸部門中心にした温室効果ガスの削減を目標とし、ネット・ゼロ・エネルギー・シティ (ZEC)を実現する。
- ▼市民一人ひとりが環境問題に関心を持ち、主人公となって取り組むため、啓蒙活動・環境教育を推進する。

■目標値:市内自然エネルギー自給率 H23 1%未満 → H38 120%



メガソーラー構想図



構想モデルの例



一般社団法人東松島みらいとし機構

(愛称: HOPE) ~ 「産学公民金」連携のプラットフォーム~

HOPE = 復興事業の中間支援組織

HOPEは、東松島市の復興という共通の目的に向かって集う皆様、主に1.東松島市民:地域コミュニティ(市民)の皆様、2.商工会:地域産業、商工業者の皆様、3.行政:国、県、市行政機関、4.HOPE参画企業:HOPE 参画いただいている企業の皆様、以上4者の「出会いの場」「情報交換の場」「気づきの場」「シナジー獲得の場」「イノベーション創造の場」でありたい、即ち東松島市の未来を創るための「フューチャーセンター」の機能を果たしたいと考えています。

「未来の東松島市」



設立: 2012年10月1日

H igashimatsushima
Organization for
P rogress and
E conomy, Education, Energy

一般社団法人「東松島みらいとし機構(愛称:HOPE)」は、震災の教訓から強く学んだエネルギー自給の大切さ、東松島市では市内の森、風、太陽を「地域資源」として見直し、サステイナブルかつ安全で安心なまちづくりをめざしています。



行政(国・県・市)と地域コミュニティ、地域産業及び民間企業の「中間組織」であり、大学、研究機関、NPO や他地域との窓口でもあります。具体的には、復興に役立ちたい企業の皆様のリソースと、東松島市行政 や市民の皆様のニーズをマッチングさせる機能を果たすことを目指しています。

※「HOPE」の詳しい活動内容はコチラ ↓

HP: http://hm-hope.org/

F B: https://www.facebook.com/hmhope.org



【環境未来都市構想の先導事業①】

「東松島方式による震災がれきのリサイクル」

~高齢者を中心とした被災者雇用800人の実現~

震災ガレキ発生量109万8000 t

(東松島市で発生する一般廃棄物 110年分)

全体の約97%をリサイクル







①被災した家屋等は、 現場分別により14 品目に分別 ②可搬型の建設機械 等を活用した一次処 理作業 ③徹底した手作業により19品目に分別による最終処理

「混ぜれば"ごみ"、分ければ"資源"」

産学公民(地元建設業協会+東北大学等+東松島市+市民)連携によるこの取組みは、事前の準備により、どの地域でも、 十分に実現できる取組みです。

震災がれき発生量

木材・木くず	37万1,000トン
混合ごみ	7万9,000トン
コンクリート殻	40万4,000トン
アスファルト殻	3万4,000トン
金属類	2万5,000トン
不燃物混合類	18万5,000トン
合計	109万8,000トン
(リサイクル量	107万0,000トン)
(焼却量	2万8,000トン)

宮城県が受託した震災廃棄物の処理単価

	事業費	処理量(千トン) 処理単価			
	(百万円)	がれき	土 砂	計	(15当たり万円)
気仙沼市	113,893	1,138	839	1,977	5.8
南三陸町	32,982	556	167	723	4.6
石巻市	194,230	3,589	736	4,326	4.5
女川町	17,297	577	0	577	3.0
東松島市	58,067	1,098	2,161	3,259	1.8
塩 釜 市	15,863	239	10	249	6.4
七ケ浜町	16,688	228	304	532	3.1
多賀城市	15,222	242	108	350	4.3
名取市	31,799	741	222	963	3.3
岩沼市	25,860	473	154	627	4.1
亘 理 町	47,876	495	361	856	5.6
山元町	43,888	784	856	1,641	2.7
計	613,665	10,160	5,919	16,079	3.8

〔注〕処理量は小数点第1位を四捨五入しているため、 合計が合わないことがある

出展:河北新報(2014.7.6)より





【環境未来都市構想の先導事業②】

「地域住民との協働による復興の森づくり」

~被災者のストレスケアと生涯現役を目指して~







・'Tree Dragon' ツリーハウス オープン 森と人を近付けてくれる癒しのスペースとして作られた森のシンボルです。希望をのせた竜が空へ飛び立つ姿をイメージしています。









・ホースマンの道づくり 森を痛めずに伐採材などを運べる ように (馬搬) 馬が通れる道を造り ました。

・森の学校プログラムをスタート! 地域の森の再生活動を通じて、郷土に誇りと愛着を持ち、将来、 の夢を描けるようり 即の森での森づくりプログラムを実施。

Higashimatsushima City

東松島市

「奥松島"絆"ソーラーパーク」

津波で浸水した地域で初の事業化

&

「東松島"絆"カーポートソーラ」

公共施設屋根貸ソーラの発展型



2 メガクラスのメガソーラ及び合計約269 k wの市内避難所(公共施設)へのカーポート設置型太陽光発電設備の導入が民間の力によって、スピードを重視し、先行整備を行っています。

カーポートソーラーは、発電事業に加え、非常時災害時に分散型発電所として市民に電力の供給が可能になり、かつ、カーポート施設が合わせて提供されるため、2重の効果があるものと期待をよせています。



『奥松島「絆」ソーラーパーク』

- ①事業者 三井物産株式会社
- ②計画地 東松島市奥松島公園跡地の一部 (約47,000m)
- ③連携容量 1,990Kw (約2メガワット)
- ④発 電 量 年間 約210万Kwh
- (一般家庭約600世帯分の年間使用電力量に相当)



『東松島「絆」カーポートソーラ』

- ①事業者 三井物産株式会社
- ②計画地等・コミュニティセンター前駐車場 約180 Кw
 - •鷹来の森運動公園駐車場 約 63Kw
 - ・大塩市民センター駐車場 約 26Kw 合計 約269Kwh
- ③効果 事業者は固定価格買い取り制度を活用し、通常時は売電。<u>災害等</u> の停電時には、非常用電源として利用可能な発電設備となる。



Higashimatsushima City

【環境未来都市構想の先導事業④】

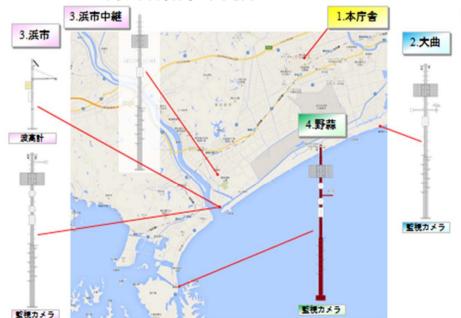
「自立・分散型電源によ る沿岸監視システム」

~独自の情報収集により、災害弱者の避難行動をサポート~

沿岸より津波監視カメラで海上の状況を監視する事により、地震発生 時等においてリアルタイムに沿岸部の状況を把握するため、沿岸津波 監視カメラシステムを先行モデル事業として整備

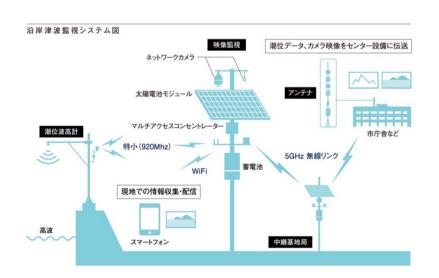
設置場所 1. 東松島市矢本字上河戸36番地1

- 2. 東松島市大曲字下台地内
- 3. 東松島市浜市字樋場地内
- 4. 東松島市野蒜字洲崎地内



東松島市型津波監視システムの特徴

- 1. ソーラーパネルで発電し、完全独立電源で24時間常時駆動(商用電源は使用しない)
- 2. ほとんど光が無い状態でも、リチウム蓄電池に蓄電しながら最低3日間は駆動する
- 3. 高性能なメインカメラ(360° 水平回転、36倍EX光学ズーム、夜間撮影可能等)
- 4. 4種類7台のカメラの設置(1 メイン、2 赤外線、3 魚眼レンズ、4 HDネットワークカメラ)
- 5. 浜市海岸部に波高計を設置することにより、より精度の高い海面情報を把握できる
- 6. 市役所端末で、カメラの各種操作(上下左右、ズーム操作)が簡単に行える
- 7. 市役所端末で、簡易な故障情報に加え、バッテリーの容量もリモートで監視できる
- 8. 大曲、野蒜海岸では、WiFi機能を使用してスマートフォン端末でカメラ映像を見れる



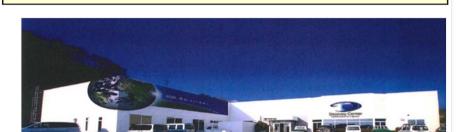


Higashimatsushima City

【環境未来都市構想の先導事業⑤】

「国内初展示の科学地球儀(SOS) 展示を備えた環境教育拠点 "ディカバリーセンター"」









教育や観光振興の核に 東松島に複合施設 27日開館

宮城県東松島市の産学官民連携組織「東松島みらいとし機構」と建設会社「橋本道路」が市内 に整備した複合施設「ディスカバリーセンター」が26日、オープンする。一般公開は27日か らで、目玉は米海洋大気局(NOAA)が開発し、国内で初めて展示される科学地球儀。東日本 大震災で被災した地域で、環境教育や産業振興に貢献する。

センターは鉄筋コンクリート平屋、床面積約2700平方メートル。小野市民センター北側の 工場跡を橋本道路が買い取り、建物を改修した。

科学地球儀は直径約1. 7メートルの球体に、人工衛星から送られるデータをプロジェクターで4方向から投影する仕組み。雲の動きをリアルタイムで表示するほか、海水温や地震など約400種類のデータが映し出される。

最先端の地球科学に関する情報に触れられることから、センターは教育や観光での活用を想定。1日4回、解説を交えた上映プログラムを計画している。

センターにはこのほか、東北大大学院農学研究科が微細藻類を利用した食品、燃料の開発を進める研究室を設置。デンマークの伝統的な刺しゅうの商品を作る市内の女性グループ「東松島ステッチガールズ」も活動拠点を置く。

みらいとし機構の担当者は「新たな産業の創出で地域を活性化できる。科学地球儀を見るため、多くの人が東松島を訪れるきっかけになる」と期待する。

入場料は大人300円、小中高校生150円。休館日は日曜と月曜。オープン翌日の27日は開館し、入場無料となる。連絡先はセンター0225(90)4083。



気象や海洋に関する多様なデータが映し出され る科学地球儀



2014年07月19日土曜日

関連ページ: 宮城 文化・暮らし





【環境未来都市構想の先導事業⑥】

東松島市型地域住宅「つながるYEAH(家)!」

※H26完成予定

東松島型地域住宅モデルハウス「つながるYeah(家)!」

15-16



モデルハウスの概要

項目	内容		
構造・規模	木造 2階建て		
敷地面積	486.75㎡ (147.25坪)		
建べい率	60%		
容積率	200%		
建築面積	126.80㎡(38.36坪)		
	2階 床面積 28.75㎡ (8.70坪)		
延べ面積	1階 床面積 121.71㎡ (36.82坪)		
	容積率対象面積 150.46㎡ (45.52坪)		

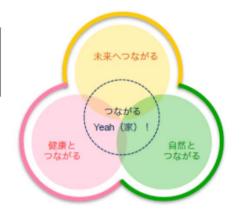
基本仕様

項目	内容		
耐震等級 【等級3】	数百年に一度の大地震(震度6強から 震度7程度)でも倒壊・崩壊しない		
省エネ等級 【等級4】	躯体・開口部の断熱性能が高い		
劣化対策等級 【等級3】	構造躯体が3世代(75年~90年) もつほど劣化しにくい		
維持管理等級 【等級3】	構造躯体と仕上げに影響を及ぼさずに 配管の点検、清掃が行なえ、構造躯体 に影響を及ぼさずに配管の補修が行な えるほど維持管理しやすい		









東松島型地域住宅の性能(CASBEEによる評価)





【環境未来都市構想の先導事業⑦】



「特定供給による東松島スマート防災エコタウン」

(事業実施主体:東松島市) ※自立・分散型低炭素エネルギー社会構築推進事業費補助金(環境省地球環境局)活用 災害公営住宅 60戸 1LDK (15戸・集合) 2LDK (34戸) 3LDK (16戸) 街区公園 4K(20戸) 1.540ml 220kW発電機 計 85戸 (バイオディーゼル) 46kWh Li蓄電池 (集会場脇) 災害公営住宅 5戸×3棟 PV 調整池PV $20kW \times 3 = 60kW$ 400kW 集会場 PV10kW ※PV合計470kW 市道をまたぎ 複数地区に渡る 自営線 ししど内科 災害公営住宅 クリニック 10戸 わたなべ うつみレディス 石巻運転 整形外科 クリニック 免許センター 仙石病院





東日本大震災 2011.3.11

QRコードを携帯端末機で読み 取ると東松島市の東日本大震災 の状況を見ることができます。 なお、通信料は自己負担となり ますのでご注意ください。

If you scan this QR code using your cell phone, you can view information about the Great East Japan Earthquake as it relates to Higashi-Matsushima City. Please be aware that you will be responsible for any associated fees.

The Great East Japan Earthquake: May We Never Forget

The Great East Japan Earthquake: Nay We Never



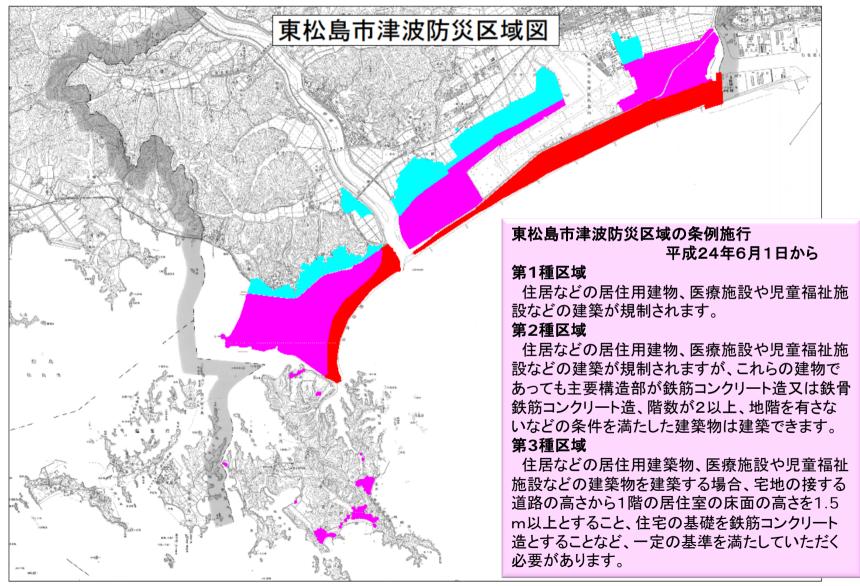
http://www.lib-city-hm.jp/lib/009ICTkeitai/00top/top.html

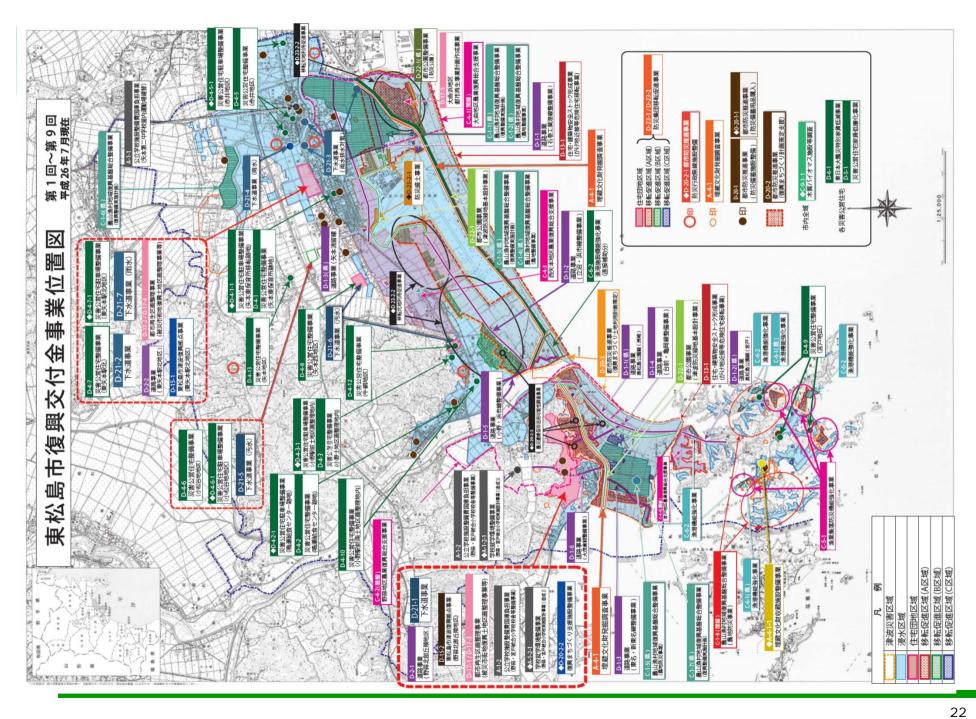
あの日を忘れず ともに未来へ

May we always remember that day, and look toward the future

TEL0225-82-1120



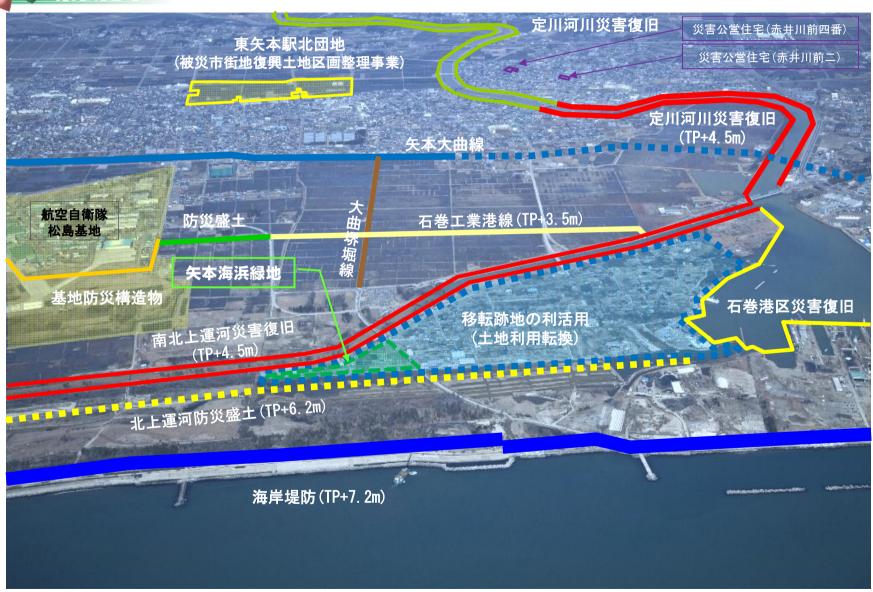






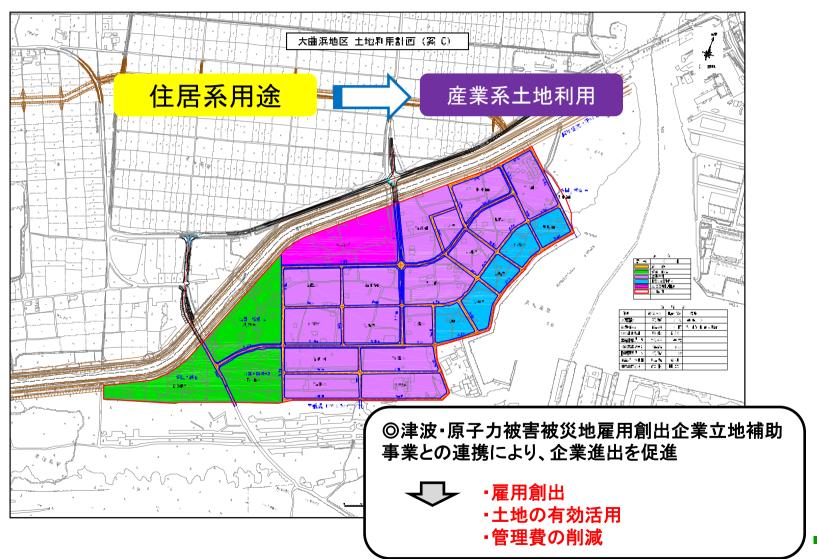








大曲浜地区(土地利用転換型)

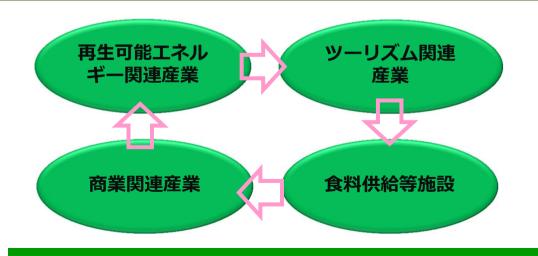




東松島市環境交流特区(復興特区)認定 2012.12.14

■集積を目指す業種(対象となる業種)

- ① **再生可能エネルギー関連産業(電気業・熱供給業等)** 津波浸水区域(被災地)を有効活用し、再生可能エネルギー 産業の集積を図る。
- ② **ツーリズム関連産業 (観光業・宿泊業等)** 松島の自然環境を活かし、一次産業との連携を含め観光産業の集積を図る。
- ③ 商業関連産業(小売・サービス業等)防災集団移転に伴う地域住民の生活利便性を確保する商業関連 産業の集積を図る。
- ④ **食料供給等施設(農業・食料品製造業等)** 復興に向けた新たな産業を創出すべく、食料関連産業の集積を図る。



復興産業集積区域内において、雇用に大きな被害が生じた地域の雇用創出に寄与する新規立地や増設、被災者を雇用する企業については、国税・地方税の該当項目に関する税制上の特例措置が受けられます。



